

STOP ガザ虐殺！国際連帯で パレスチナ解放、ウクライナ即時停戦を 実現し、東アジアから戦争を止めよう！

- 日時 7月27日(日) 午前9時30分～12時30分
- 会場 相模原市民会館・ホール
- 主催 ZHAP(ZENKO辺野古反基地プロジェクト)
- Zoom オンラインでの参加も可能です！
- 連絡先 日南田(090-8602-4232)



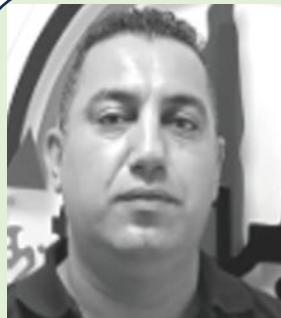
呼びかけ

ガザ地区では3月以降の再封鎖で食料・水・医薬品の供給が絶たれ飢餓が進行しています。イスラエルと米国はこの人道危機を利用し武装した「食糧配給所」を設置してパレスチナ人の命の支配を強め、民族浄化を狙っています。国連が即時停戦の決議をあげるなど、国際社会からも孤立したイスラエルは、内外からの非難を逃らすため6月13日イランを大規模空爆するという危険な瀬戸際政策を始めました。イスラエルとそれを支える国や企業の責任をさらに追及しなければなりません。

パレスチナ現地では、違法な占領を止めさせる市民の抵抗が続いています。全世界でも BDS(ボイコット・投資引き上げ・制裁)運動が拡大しています。パレスチナ人の命を救うための「グローバルマーチ to GAZA」も取り組まれました。ZENKOはパレスチナ現地の闘い、全世界のBDS運動と連帯して運動をしています。イスラエルに対して具体的な行動を何ら示さない日本政府の責任を追及し、イスラエル協力企業に対して抗議要請を続けています。特にガザを空爆しているイスラエル空軍のF35I アディールに部品供給をしている三菱重工、IHI、三菱電機らの日本企業に部品のサプライチェーンからの脱退を求めています。

2025ZENKOin 相模原第1分科会には、パレスチナ現地から虐殺を止めるための国際連帯を求めてモハマド・アローシュさんが参加されます。中東の労働組合を束ねてパレスチナ人を守る拠点づくりをしている UWFPP(パレスチナ人民防衛統一労働者戦線)のサミール・アディルさん、米国でトランプからの攻撃を跳ね返しながら BDS を広げている DSA(アメリカ民主主義的社会主義者)のアンリン・ワンさん、京都でイスラエル軍人の宿泊辞退を申し出て解雇され裁判を闘うジェロニモ・ゲレスさんも参加されます。対中国戦争準備のために東アジアで軍事化を進めている日米韓がパレスチナ人を殺しているイスラエルを支えています。世界のパレスチナ連帯の仲間が集い、ガザ虐殺を止めるために共同の取り組みをどう進めるか、対面で議論します。ぜひ多くの方のご参加をお願いします。

第1分科会に参加される
海外ゲストの方々



モハマド・アローシュ(PWSU
パレスチナ労働者闘争ユニオン)



サミール・アディル(UWFPPパレ
スチナ人民防衛統一労働者戦線)



アンリン・ワン(DSA アメリカ
民主主義的社會主義者)



ジェロニモ・ゲレス(イスラエ
ル軍人宿泊拒否解雇裁判原告)